

討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.82
2019年12月



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」

令和元年 第5回

12月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告から

令和元年11月29日～

12月24日までの26日間

市長提出議案

12月議会に提案された議案は、予算議案が追加議案を含め7件、条例等の一般議案30件です。

予算議案については、一般会計において、給与管理費等に係る7億8417万円の減額補正を、特別会計では、国民健康保険事業特別会計をはじめ2会計、6億3394万8千円の補正を、また企業会計では、水道事業会計をはじめ2会計の債務負担行為補正を行うものです。また、台風第19号で被害を受けた施設の復旧のため、一般会計において8億5801万1千円を、下水道事業会計において4億

3145万5千円の追加補正を行うものです。

次に、一般議案ですが、「川口市事務手数料条例の一部を改正する条例」など、条例議案13件、財産の無償譲渡議案1件、財産の取得議案7件、専決処分承認議案1件、公の施設の指定管理者の指定議案1件、市道路線の認定及び廃止議案4件、人事議案3件です。

令和2年度の 予算編成について

市税の徴収強化の取組みの結果、決算ベースで、平成25年度の市税全体の収納率は、90.6%であったものが、30年度には96.6%と6.0ポイントの向上を図り、収入額においては、25年度の約891億円から30年度の約963億円へと、約72億円の増収となりました。

また、市有地の積極的な売却による財源の確保や、施設整備基金の活用により、市債の発行を抑制するなど、財政の健全化を強力に推し進めてきました。こうした取り組みを通じて確保した財源を活用し、土地開発公社については、いわゆる、三セク債の発行のほか、土地の買い戻しをこれまで以上に進め、同公社の借入金残高は、平成24年度末の約460億円から、30年度末の約89億円と、6年間で371億円の大規模な圧縮を図った結果、令和4年度までの健全化目標である約97億円を大幅に下回り、今年度末には70億円台となる見込みです。

また、一般会計、特別会計及び企業会計に、土地開発公社の借入金を加えた、市全体の借入金残高についても、平成24年度末の約2790億円から30年度末の約2621億円へと、6年間で約169億円の大規模削減を達成したところです。

このような中、来年度の予算編成にあたり、歳入においては、引き続き、市税収納率のさらなる向上のほか、国の財政支援の積極的な活用などによる歳入確保に取り組み、歳出においては、3大プロジェクトを着実に進めるほか、4月の開設を予定している(仮称)子ども発達相談支援センターなどにつきましても、円滑に運営できるよう準備を進めていきます。また、扶助費等の義務的経費や、施設・設備の老朽化対策に係る維持経費等の増加が見込まれることから、真に必要な施策にはしっかりと予算を配分し、事業実施にあたっては、スピード感をもつて取り組みます。

債権管理条例の 制定について

これまで市税の徴収に積極的に取り組み、収納額、収納率

ともに大幅に向上させたところでです。

また、税以外の債権についても、民事債権専門の組織を立ち上げ、債権管理を行なっている所管部署と連携して適正な管理を進めるとともに、弁護士法人への回収委託も活用して未収債権額の圧縮に鋭意努めてきました。しかし、未だに回収が困難な債権もあり、市民負担の公平性の観点からも、さらなる債権管理の適正化を図る必要があるものと考えているところです。

こうしたことから、債権管理者の責務や手続き、回収不能な債権の取扱いなど市の債権の管理に関して統一的な処理基準を定める「川口市債権管理条例」を制定することとし、今議会に条例議案を提出しました。この条例の運用により、債権の回収に積極的に取り組み、本市の健全な行財政運営に努めます。

小児夜間救急診療体制の 整備について

小児夜間救急診療拠点は、年間を通じて準夜帯における子どもの二次救急診療を1カ所で行なうもので、鳩ヶ谷庁舎別棟への設置工事を進めているところです。

併せて、川口市小児夜間診療体制整備検討会議において、診療内容や人材確保の方策など、設置及び管理に関する具体的な検討を進めてきました。

診療日や診療時間、診療所の名称を「川口市子ども夜間救急診療所」とすることなどを定める条例を制定することにより、安全・安心な子育て環境の充実や利便性の向上を図るとともに、一次救急と二次救急の役割を明確化することで、医師の負担軽減、医療の質の確保に努めます。

グリーンセンターの 再整備について

グリーンセンターは、開園から52年が経過し、施設の老朽化が目立ち、インフラなどの不具合も発生している状況にあります。

特に、正門から入り、つつじ山左側の園路は、地盤沈下や漏水により利用に大きく支障が出ていることから、当該エリアの安全性を確保するため早急に整備を進める必要があります。

同時に、整備にあたっては、子どもたちをはじめとする多くの市民の皆さんが楽しめる、自然を活かした魅力ある遊具等を配置するなど、エリアの再構築を行ないます。

※これまでのレポートは市長の所信と報告を抜粋加筆して作成しております。

台風第19号に伴う市内の被害状況等について

(令和元年11月29日現在危機管理部発表)

台風第19号は市民に大きな衝撃と被害を与えました。本市においても災害対策本部を設置し、その対応に苦慮いたしました。幸い荒川・芝川等の氾濫を防ぐことができ、人命に関わるような大規模な被害は防ぐことができました。

また今回の台風で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

●応急活動体制の概要

10月11日(金)	11時00分	配備検討会議
10月12日(土)	04時06分	警備体制第2
	10時45分	非常体制第1 配備・災害対策本部設置
	13時17分	第1回災害対策本部会議
10月13日(日)	11時00分	第2回災害対策本部会議
	11時50分	非常体制第1 配備解除・災害対策本部継続し各部局対応
10月15日(火)	13時00分	災害対策本部閉鎖

●気象警報等

10月11日(金)	18時14分	大雨、雷注意報発表
	21時19分	大雨、雷、強風、洪水注意報発表
10月12日(土)	04時06分	大雨(土砂災害、浸水害)警報
		雷、強風、洪水注意報発表
	07時24分	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水警報
		雷、強風注意報発表
	12時05分	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風警報
		雷注意報発表
	21時50分	土砂災害警戒情報発表
	21時51分	大雨特別警報、洪水、暴風警報
		雷注意報発表
10月13日(日)	00時40分	大雨、洪水警報
		強風注意報発表
	16時45分	大雨、洪水警報発表
	19時31分	洪水警報発表
10月14日(月)	03時09分	警報注意報全て解除

●避難情報の概要

避難情報

- ア. 避難準備・高齢者等避難開始情報発令 10月12日(土) 11時00分
中央地区、南平地区、横曽根地区、青木地区、芝地区、鳩ヶ谷地区、新郷地区
- イ. 避難勧告発令 10月12日(土) 18時00分
中央地区、南平地区、横曽根地区、青木地区、芝地区、鳩ヶ谷地区、新郷地区
- ウ. 避難指示(緊急)発令 10月12日(土) 22時50分
中央地区、南平地区、横曽根地区、青木地区、鳩ヶ谷地区
- エ. 避難指示(緊急)から避難勧告に引下げ 10月13日(日) 6時00分
中央地区、南平地区、横曽根地区、青木地区、鳩ヶ谷地区
- オ. 避難勧告解除 10月13日(日) 18時00分

●市内最大雨量

60分雨量	24.0mm	戸塚消防分署
総雨量	208.0mm	横曽根消防分署

●被害状況

(1)人的被害		1人	71歳男性が路上で転倒し頭部を負傷(軽傷)
(2)建物被害	全壊	3棟	桜町3丁目地内
	床上浸水	101棟	半壊2棟 一部損壊(準半壊)7棟 109世帯 中央地区1 横曽根地区10 神根地区35 芝地区9 戸塚地区2 鳩ヶ谷地区44 (単位:棟) ※うち住家92棟 非住家9棟
	床下浸水ほか	49棟	宅地内等の冠水6棟を含む 38世帯 ※うち住家38棟 非住家11棟
	その他	11件	屋根の破損等
(3)その他建築物被害		9件	フェンスの傾き等
(4)道路被害		111箇所	道路冠水等
(5)河川被害		6箇所	藤右衛門川・江川・伝右川・菖蒲川の溢水
(6)土砂被害		2箇所	桜町3丁目地内 大字里地内
(7)ライフライン被害	停電	7件	※「停電情報」参照
	漏電	1件	
	出水不良	1件	
(8)通行止め		12箇所	
(9)その他		76件	看板が倒れている、倒木等

●各課の対応(職員参集状況)

統括部：18名	秘書広報部：10名	渉外部：12名
総務部：13名	物資部：39名	情報収集部：54名
救助第1部：82名	救助第2部：91名(保育士含む)	救助第3部：13名
環境衛生部：41名	食料部：10名	土木施設部：97名
都市施設部：34名	開発施設部：94名	出納部：4名
医療部：191名(医師等含む)	上下水道管理部：10名	上下水道事業部：55名
文教第1部：138名	文教第2部：41名	消防部：224名
議会部：10名	第1協力部：9名	第2協力部：4名
		合計：1,294名

●避難所関係

(1)開設状況及び避難者数	ア. 小中高等学校	8,596人	83ヶ所
	イ. 公民館等	3,577人	35ヶ所
	ウ. リリア(メインホール)	425人	1ヶ所
	エ. イオン前川 車両約400台		
	オ. 垂直避難施設	4施設	受け入れなし (アリオ川口、パークホームズ川口幸町センターステージ、ハイラーク川口、グリーンビュー第3川口)
(2)開設施設数	124施設		
(3)避難者数	12,598人(外国人404人・市外128人を含む)		
(4)ペット受入状況	73施設 197匹		

●停電情報

(1)22時13分	市内約1,200軒停電(伊川・木曽呂・差間2丁目・差間・東内野)
00時33分	停電復旧 原因：高圧線支持物の破損
(2)22時20分	大字道合地内(北中学校)
22時25分	停電復旧 原因：不明
(3)22時17分	大字安行領在家地内(在家中学校)
00時33分	停電復旧 原因：不明

●土のう配布数 6,377袋

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報
発信

http://gakkainavi.com/udagawa/report.html

活動情報
を掲載！
ブログも
随時更新！

宇田川レポート更新中!!